



## 「本校にもいじめはあります」

校長 北 嘉昭

平成30年の文部科学省通知により、1年間、教育委員会にいじめを報告しなかった学校は、PTA総会や学校だよりで「いじめゼロ」を公表し保護者や生徒に確認することになっています。この通知以降一度も、本校はそういった公表をしておりません。つまり、毎年いじめが何件かあります。

4月の育友会総会で、校長挨拶としてこのような内容で話しました。今年度も2学期末までに数件のいじめ事案を教育委員会に報告しました。昨年度から解決せずに継続している事案もあります。

学校では、社会の一員となるための知識や人間関係づくり、ルール等を学びます。未熟な生徒たちが人間関係を作り上げる中ではトラブルも起こります。その解決を目指すことで、人として成長するわけですが、いじめへと変化することもあります。一方的に加害者が悪いいじめもあれば、仲間グループの中で、加害者と被害者、傍観者等が次々と入れ替わるパターンもあります。

きっかけは様々でも「死ね」「うざい」「消えろ」などの暴言や陰口、そして突然振られる暴

力。される側は不安な日々を過ごさなくてはなりません。訴えがあったり、見つけたりした場合は、双方の話を聞き、保護者の皆様の協力をいただきながら、説諭、対話を重ねて解決を目指しています。時には厳しく指導することもあります。解決に本人の納得感がなければ、くり返されるか、ますます隠れてやるだけです。粘り強い指導と保護者の協力が必ず必要となります。

12月初めの人権週間で書いた作文を読むと、生徒たちは相手と自分の思いの違い、暴言の威力等いろんなことに気付いていました。世の中

では、インターネットで気軽に意見を発信できるようになった反面、ひぼう中傷を多く目にする毎日です。



ドロシー・ロー・ノルトさんの詩「子は親の鏡」



にあるように、子供たちの健全な成長のためにも、短絡的で過激な考えではなく、相手の気持ちを思いやった言動を、生徒の身近な大人であるご家族や教師は示し続けたいと考えています。



## 1 学年 地元企業見学



1年生は12月6日（金）5・6限に、進路学習の一環として、地元企業2社の見学に行ってきました。いくつか感想を紹介します。

- いつも前を通過して見ていた企業が何を作ってどんな仕事をしているのか分かりました。工場見学では、実際に製品を作る工程や働いている人たちを見ることができて、楽しく学ぶことができました。働くことに興味をもてました。
- 正直、今まではあまり大人になって働きたいと思っていなかったのですが、今回の見学を終えて、少し仕事をするのが楽しみに思えました。
- 立山科学グループが作っているものは、自分たちの生活の中でも色々な場所に使われていることが分かりました。働いている人たちが、楽しんで仕事をしていることも分かりました。私も、自分に合った楽しいと思える仕事を見つけていきたいです。



- 今まで体験したことがないようなことをさせていただき、とても楽しかったです。工場見学では、会うみなさんが挨拶をしたら爽やかに挨拶を返してくださり、とてもよい会社だなと思いました。身近な製品を支える大切な機械を作っていると聞き、ありがたいと思いました。
- (株)シンコーのことは知っていたけれど、どのようなことをしていて、どんな機械があるのかは知りませんでした。普段は見ることができないものを見ることができ、地域の工業について学ぶことができてよかったです。見学を通して、工業や機械などを使う仕事に興味をもつことができました。スライドを使った説明がとても分かりやすかったです。ありがとうございました。



## 🎄👤🎄 2 学年 校外学習を終え、新たな学習へ！ 🎄👤🎄

11月8日(金)、金沢校外学習を行いました。青空に紅葉が映えるすばらしい天気の下、生徒たちは事前に立てた計画に従って班別活動を行いました。伝統工芸体験や名所の見学を通して見聞を広げ、班活動を通して仲間との絆を深めることができたように思います。

集合場所に集まってきたときの楽しげで満足した表情に、一つの行事を協力して成し遂げた充実感があふれていました。



中学校生活もあっという間に半分が過ぎ、一年後には一人一人が自分の進路を決める時期に

さしかかります。

先月半ばから、進路学習を始め、高等学校等の上級学校についての学習をしています。学科、所在地、上滝からの通学の仕方、受検の内容や流れ等について、「進路のしおり」を参考にしながら学んでいます。

そして先週から、3年間の学習を单元ごとにまとめてある「テキスト」を用いての学習もスタートしました。「一日あたり1教科、1単元、約4ページ」の学習を、毎日継続して行います。1週目は、全員しっかり取り組むことができました。今後も、確かな学力を身に付けるため、毎日4ページのテキスト学習(=復習)をしっかりと行えるよう、ご家庭でも、励ましの声をかけていただきますようお願いいたします。



## 3 学年 人権週間

### 【「また明日。」】を読んで

「言葉とは何だろうか。」と人間は一生問いかけ、向き合い、考えていくことが必要不可欠で大切なことだと感じた。この作文の通り、文字にすればたったの4文字でも、人は救われる気持ちになれるし、明日を生きようとする活力になる。そんな世の中にしていくことが大切だと思った。また、筆者は言葉は「道具」と言っていたが、道具として考えるより、自分の一部だと感じ取って生きていくことも大切なのではないかと思った。(2組男子)



### 【「いじり」は「いじめ」】を読んで

私も何回もいじられたことがあります。しかし、私も楽しんだりしていました。だけど、「いじり」が過ぎる発言などをされると腹が立つこともあったけれど、「関係が崩れるんじゃないか…」と心配になって、その時は「やめて」と言えなかったです。たしかに「いじり」は「いじめ」だと思います。私もこの世から「いじめ」がなくなしてほしいと思いました。(1組男子)

## 生徒作文の感想から



### 【言葉の力】を読んで

「死」という意味をしっかりと受け止め、人にそのような言葉を言うてはいけなないと思いました。今、当たり前のように生きている人たちも、いつ死んでしまうのか分からないからとても尊く、儂く、大事にしないといけなないのに、軽々しくそんな言葉を発さないでほしいと思いません。本当にいなくなってしまうのなら、どのようなことになるのか、周りの人はどのように感じるのかをしっかりと考えてから言葉を改めることが大切だと思いました。(1組女子)



### 【いじめを無くすために、今】を読んで

人が話す言葉の意味がとても大きいものであり、死の大きさや重さ、それに「死ね」という言葉がどれだけ重い言葉か改めて分かりました。死ぬと人は二度と誰とも会えなくなる。そのようなことになることを考えずに「死ね」という言葉を話すことは人としてどうなんだろうと思います。自分の言葉遣いは誰かを傷つけていないかを確認して、今後過ごそうと思いました。(2組男子)